

市長記者会見記録

日時：2022年3月15日（火）14時00分～14時14分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

<内容>

《市政一般》

【司会】 ただいまから定例市長記者会見を始めます。本日の議題は、市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入らせていただきます。進行につきましては、幹事社様、よろしく願いいたします。

《特別自治市について》

【神奈川（幹事社）】 幹事社です。よろしくお願いします。

【市長】 お願いします。

【神奈川（幹事社）】 私からは特別自治市と選挙公報の関係で、大きく2点お伺いしたいと思います。

まず、特別自治市ですけども、先日、3政令市長が連名でコメントを出されました。その中で、2月に県に対して調整会議の開催を申し出たとありましたけども、このタイミングで、そうした申し入れをされた理由と、さらにそのいきさつについて少し詳しく教えてください。

【市長】 特別自治市について、昨年来から指定都市市長会からの提言も出させていただいて、そのことについて県議会でも質問がなされ、そして、県知事からの答弁というものを私ども聞いておりますけれども、私の議会答弁でも申し上げましたけれども、ちょっと理解がされていないということと、これまでの認識がかなりそこがあるというふうに思います。

そうしたことから、やはり、こういったことをしっかり調整会議の中でやっていくべきなんじゃないかというふうな話で呼びかけをさせていただいたところなんです。そのことについて、何か総務省に見解を聞いて、これが調整会議に該当する事項かどうかというふうなのを確認して該当しないということで来たので、そんなことはないでしょうということ、改めてこちらからもコメントし、また、知事のほうからは、別に調整会議にこだわらず、知事、3市長のところでも場をつくるみたいな話があっ

たので、それはそれでいいと思いますけれども。そもそも調整会議に当たらないから開かないと、それはよく分からないですけど、別にけんかしているわけじゃないですから、当然県内市町村の政令市の首長と知事がぎくばらんに意見交換して、お互いの認識が違うところは違うとか、あるいは認識をお互い深めていくということというのは、とても大切なことだと思いますので、それはどんな機会でもつくっていききたいというふうに思っています。

【神奈川（幹事社）】 お話にありましたように、知事は首長同士の協議に応じるというふうに言っているようですけども、今後、改めて政令市、もしくは川崎市のほうから働きかけていくということあるんでしょうか。

【市長】 当然3首長で意見交換の場というふうな形で言っているわけですから、具体的なものはこれから詰めていくんじゃないかと思っています。

【神奈川（幹事社）】 その流れになっているということによろしいんでしょうか。

【市長】 まだ今後のことは、3政令指定都市の市長と、どういう準備をどうしていくかということについても話をしていきたいと思っています。

【神奈川（幹事社）】 改めては、県のほうに働きかけていくと。

【市長】 そうですね。

【神奈川（幹事社）】 特別自治市の実現に向けて、首長同士の協議の必要性について教えていただけますか。

【市長】 市長同士？

【神奈川（幹事社）】 首長です。首長同士の協議の必要性についても教えてください。

【市長】 私たちが特別市がこれが重要だと言っていることに対して、認識が違うので、その認識をしっかりと埋めるような場が必要だと思いますので、それはしっかりやっていきたいと思っています。事務レベルのみたいな話ではないので、当然首長同士が話し合うことだと思います。

《選挙公報の配布について》

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

続きまして、選挙公報の関係なんですけども、先週の議会でも取り上げられていましたけども、昨年の衆院選で選挙公報を配布する際に、随意契約で日通に委託したと。日通が再委託する際に、手続、必要な手続を踏まなかったということが明らかになりました。さらに発注価格に関して高いんじゃないかという問題視する声もありますけれども、これらについて市長の考えをお聞かせください。

【市長】 まず、再委託をされていたということの認識を持ったのは議会のところで、

私自身がということでありました。ただ、選挙期間中ではありましたけれども、選挙管理委員会、あるいは、伊藤副市長だったかもしれませんが、おそらく選挙管理委員会からだっと思えますけれども、かなり、いわゆるポスティングしてくださる業者の方というのが手配出来ずに非常に困っているという状況というふうな報告を受けていました。

そのことについても、とにかくあらゆる手を尽くしてやらなくちゃいけないんだというふうなことを報告を受けたことは覚えていますので、そういった中での手続だったと思います。

そういった意味で、どうやって人を集めてくるかというのでは、相当皆さん困難を抱えていたので、衆議院選挙とダブルな形になっていくというタイミングでしたから、全体的に非常に厳しい状況にあったんだろうなということは、報告を受けたときからそういうふうに推測もしておりました。

そのことについて再委託だとかあるいはその手続が不備であったということについては、その経緯も含めて、しっかりと調査しなくちゃいけないんじゃないかとは思いますが。そこはどこが問題だったのかということというのは、私たちの不備、選挙管理委員会の、ということもあるんでしょうから、そのところはしっかりと調べてしっかり報告すべきことだと思います。

【神奈川(幹事社)】 その原因究明等に関して市長から指示は出されたんでしょうか。

【市長】 いえ、既にそういうふうな形でなっているという報告を受けているということです。ただ、高くなってしまったとかということは、必要な手続は、そこはしっかりできている、再委託のところの手続がされていないということだと。高い安いというのはそれは僕も価格だけをそのまま見てしまうと、あれ、このA社は、この金額で、このところはこんなに高いのと、一般的に見るとそうなんでしょうけれども、それは状況によって起こり得ることだと思います。金額が高かったからゆえに、それが問題だということの認識は私は持っていません。

【神奈川(幹事社)】 その日通の発注価格に関してなんですけども、日通側の言い値だったという説明も選管からありました。税金の無駄遣いを減らすというのは、行政にとって基本姿勢だと思います。絶対命題だと思うんですけども、そういう意味では、今回そういった努力というのが足りないようにも感じるんですが、その点いかがでしょうか。

【市長】 その当時私が担当でずっと見ていたわけではないのであれなんですけれども、ですから、常に最低の価格で最高のサービスを求めていくというのは、ある意味、

税金を効率的に運用していく立場として当たり前の話なので、その努力はやっていくべきだと常に思っていますし、職員全員がそういう意識でなければ困ると思います。

その上でありますけれども、今回の案件というのは、投票のときの公平性を担保するために必ず配らなくちゃいけないと、手元に届かせなければならないという、そういったものが意識の上で働いた。非常に手が足りないという情報が入っていたということも聞いていたので、そこのところはしっかりと考慮されるべきだろうと思います。

いずれにしても、御指摘のとおり、無駄なことがないように執行していくべき話だと思います。

【神奈川（幹事社）】 今回のようなケースは、もしかしたら、これまでもほかの事業等であった可能性もありますけども、現状の認識と改善の必要性について、お考えがあれば教えてください。

【市長】 どういう意味ですか。今までの。

【神奈川（幹事社）】 今回のようなケース、随意契約の価格に関して適正化が図られていないと、努力が足りていないというケースが、ほかにももしかしたらあるんじゃないかなと思うんですけども、現状の認識と改善の必要性について教えてください。

【市長】 今言ったとおりですけども、常に最少のコストで最大限のことをやっていくということが基本なので、それをしっかりやっていくことだと思います。

一般論の話と一緒にしてしまうとおかしな話になっちゃうので、そこは切り分けて話したいと思います。

随意契約そのものというのは、やはり限定されている話でありますから、何となく、この1件でもって、随意契約が全部おかしいとか、適正価格になってないんじゃないかとかということの一般化してはいけない話だと思います。

【神奈川（幹事社）】 現状同じようなケースがあるのかなのか、市長の認識は。

【市長】 現状というのは、例えばどういうことですか。同じ配布物ということでしょうか。

【神奈川（幹事社）】 いえ、随意契約に関して、例えば今回のように、相手の言い値で決まってしまうこととか、要は、先ほども市長がおっしゃられたように、税金の無駄遣いを減らすという意味では、絶対に必要な姿勢だと思うんですけども、そういった努力が適切にされているのかどうか。全体的な話ですけど、市長の認識を教えてください。

【市長】 いや、それぞれ適正にやられていると思います。ただ、こういうふうな事

例があったということは、やはり肝に銘じなくてはいけないと思います。これが今回のものが間違っただけじゃありません。そこは誤解なきようにしていただきたいんですが、値段が高かったからこれは不適切だというふうな話、不適正だということにはならないというふうに、そこは誤解のないようにしていただきたいと思うんです。現段階で最も効率的な手法を選ぶという形ですので、随意契約が駄目だとか、あるいは随意契約だと、これだけ高いだろうとかという話というのは、ではあの段階で、そういう、今申し上げてきた現状で、どれが本当に適切だったのかというのは、常に個別の具体によって違うので、一般化された話に戻されてしまうと、すごく誤解を生む発言になってしまうので、それは控えたいと思います。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

《新型コロナウイルス感染症関連について》

【t v k（幹事社）】 幹事社のt v kです。よろしく、お願いします。

やっと2か月ぐらいにわたっていたまん延防止措置が解除されるのではないかと、いう機運になってきていますが、この2か月間、コロナ対策の面で川崎市はいかがですか。

【市長】 まだ、どういうふうになるかというのは正式に分らないですけども、これまで徐々には、感染下がってきてはいますけれども、下げ幅というのがだんだんと鈍化しているということに非常に危惧をしています。

ワクチン接種を進めてきているので、その効果が、今後どのぐらい出てくるのかというのはまさにこれからというのをよく見極めたいというふうには思いますけれども、そういう意味では、とにかくワクチン接種を急いでいくというような、この2か月間だったと思います。

それは高齢者施設でのクラスターなどが非常に多く発生していたということもあって、医療現場も非常に逼迫をしていた状況ですので、そこが少し徐々に改善されてきたということはいいことだと思いますが、まだちょっと油断できないというような、下げ幅は非常に少ないので、まだ、緊張感を持って対応していかなければならないと思っています。

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。

幹事社からは以上です。各社さん、よろしいでしょうか。

【司会】 そのほか御質問はよろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の市長記者会見終了とさせていただきます。ありがとうございました。

(以上)

- ・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312